

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 254

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 4. 高齢者 現年		
事業名	生活・介護支援サポーター養成事業				
細事業名	生活・介護支援サポーター養成事業				
評価表作成者				市民福祉部 高齢福祉課	四方 厚司

1. 事業の概要

住民の主体性に基づいて運営される新たな住民参加サービス等の担い手として生活・介護支援サポーターを養成し、地域で高齢者の生活を支える力を育てる。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりが必要であり、その人材や地域力の育成を支援する。

② 事業を実施する必要性

地域において暮らしていく中で、支援を必要とする高齢者等のニーズに応える人材を養成し、地域全体で高齢者を支える体制を構築する必要がある。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円				1,584	1,604	1,604	1,604
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円				0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円				0	0	0	0
	国・府支出金	千円				1,584	1,604	1,604	1,604
	地方債	千円				0	0	0	0
	一般財源	千円				0	0	0	0
職員等の従事人員		人/年	—			0.05			
人件費		千円	—			257			
事業費総額		千円	—			1,841			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

養成事業委託 1,584,000円（委託料）

5. 事業結果の概要

平成22年11月から平成23年2月まで、市内2会場で開催。
 20時間の講習・実習。
 52名受講。全過程終了者33名。終了証を発行。
 「なんたん生活介護サポートクラブ」を設立し、修了者を登録・活動支援を行う。

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

高齢化が進行する中、高齢者を地域で支えあう仕組みをつくることが課題となっており、その担い手を養成することが重要である。本事業の実施により、引き続き人材育成に努める。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

--

■平成21年度の所属長評価

--